

News Release

2010. 12. 27

全国クリーニング生活衛生同業組合連合会

クリーンライフビジョン 21-2010 東京国際クリーニング総合展示会 大盛況のうちに閉幕！

全国クリーニング生活衛生同業組合連合会、社団法人日本産業機械工業会および全日本クリーニング機材商協議会は、12月3日（金）～5日（日）の3日間にわたり世界3大クリーニング展示会の1つである「クリーンライフビジョン 21-2010 東京国際クリーニング総合展示会」を東京ビッグサイト（東京都江東区）にて開催した。



C L V 21-2010 東京展示会 会場の様子

建築基準法問題やクリーニング事業者の高齢化、不況によるクリーニング需要の減少など、クリーニング業界を巡る情勢はかつてない厳しさを見せている。そんな時代だからこそピンチをチャンスに変えるべく、各出展ブースでは活気ある商談が見受けられた。また、主催者企画として設置した建築基準法に関する「建築基準法問題対応ゾーン」や各種セミナー等には常に多くの来場者があり、情報交換の場としても大いに賑わった3日間となった。

今回特に、建築基準法問題そのものと、これに対するクリーニング業界の動向を知るために国会議員や行政関係者が多く入場したことが注目される。大会初日には、近藤昭一環境副大臣、平智之衆議院議員及び厚生労働省健康局生活衛生課・堀江裕課長が、また大会全体を通じて各自治体のクリーニング業所管及び建築所管の行政関係者が大勢来場し、実際の業界の対応を知っていただく有効な機会となった。

会期：12月3日（金）～5日（日）
会場：東京ビッグサイト 東5・6ホール
主催：全国クリーニング生活衛生同業組合連合会
社団法人日本産業機械工業会
全日本クリーニング機材商協議会
後援：厚生労働省／経済産業省／環境省／東京都

出展規模 143 団体・社、610 小間

来場者数

1日目【12月3日（金）】 ……2,765 人

2日目【12月4日（土）】 ……2,066 人

3日目【12月5日（日）】 ……3,627 人

合 計 ……8,458 人

●開会式

開会式では青山亨大会会長（全ク連会長）と三科隆大会副会長（社団法人日本産業機械工業会業務用洗濯機部会部会長）、伊藤昭平大会副会長（全日本クリーニング機材商協議会会長）が挨拶を行い、青山大会会長は「開会式に際して多くの方にご参集いただき、心から御礼申し上げます。現在クリーニング業界は戦後最大の不況に直面しており、一時はこの大会の開催も危ぶまれたが、皆様のご協力を得て開会式を迎えることができた。昨年来の建築基準法問題に関しては、先般国土交通省から発出された《技術的助言》に準拠したモデル店舗や相談コーナーを設けているのでぜひとも参考にさせていただきたい」と述べた。

また、来賓として後援の厚生労働省・藤村修副大臣（代読：健康局生活衛生課・堀江裕課長）、経済産業省・鈴木正徳製造産業局長（代読：製造産業局産業機械課・永山純弘課長補佐）、環境省・松本龍大臣（代読：大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室・森下哲室長）、東京都・石原慎太郎知事（代読：福祉保健局健康安全部環境衛生課・池田誠課長）からご祝辞をいただいた。



青山大会会長の挨拶



テープカットを行い、華々しく開幕



入場ゲートには長蛇の列ができた

●全国ワイシャツ仕上競技大会

全国 10 ブロックからの代表がアイロン技術を競う「全国ワイシャツ仕上競技大会」を、展示会最終日の5日（日）にビジョンステージにて開催した。ルールは、制限時間内に2枚のワイシャツをたたみ・立体でそれぞれ仕上げるというもの。審査項目は「競技中の態度」「仕上がったワイシャツの乾き具合」「シワ」、そして「最終的な商品価値」の4つである。厚生労働省健康局生活衛生課の奥田幸生課長補佐がご臨席された中、会場には全国各地より駆け付けた応援団が集まり、アイロンを握る選手達に熱い声援が送られた。

厳正なる審査の結果、みごと厚生労働大臣賞（優勝）には東京ブロック代表の矢口正昭氏（東京都）が輝いた。また、大会会長賞（2位）には東海北陸ブロック代表の高畑正昭氏（富山県）、ビジョン 21 賞（3位）には四国ブロック代表の中川喜美雄氏（徳島県）が選ばれた。

【厚生労働大臣賞】（優勝）

東京ブロック代表／矢口 正昭氏（東京都）

【大会会長賞】（2位）

東海北陸ブロック代表／高畑 正昭氏（富山県）

【ビジョン 21 賞】（3位）

四国ブロック代表／中川喜美雄氏（徳島県）

【優秀賞】

北海道ブロック代表／越前谷 徹氏（北海道）

東北ブロック代表／荒井 勇夫氏（宮城県）

関東甲信越ブロック代表／長尾 清敏氏（栃木県）

神静ブロック代表／鈴木 義道氏（静岡県）

近畿ブロック代表／亀田 幸司氏（滋賀県）

中国ブロック代表／難波 進氏（岡山県）

九州ブロック代表／森 忠一氏（宮崎県）



競技中の選手たち



選手全員で記念撮影。前列左から5人目が厚生労働大臣賞に輝いた矢口氏。

同じく前列左から3人目が青山会長、4人目が奥田課長補佐

●建築基準法問題対応ゾーン

主催者企画として設けた「建築基準法問題対応ゾーン」では、国土交通省が本年9月に発出した建築基準法用途規制違反への技術的助言に準拠したモデル店舗を展示、多くの来場者が自店の間取りや機械の設置状況と比べ、改善点やポイントをメモしていた。見学者からは「技術的助言を読んだ時は分かりづらい箇所があったが、実際に目の前でモデルを見て、空間を体感することで、文章に書かれていた意味が理解できた」等の感想が聞かれた。

また、各業務用洗濯機メーカーの専門スタッフが従来の石油系ドライ機を技術的助言に適合させる方法についてアドバイスを行う「相談コーナー」も盛況で、株式会社アサヒ製作所、三洋アクア株式会社、株式会社東京洗染機械製作所、東静電気株式会社、株式会社山本製作所のスタッフが相談員として対応に当たる中、相談者達は事前に調べた自店の機械について、どうしたら技術的助言に適合できるのかをスタッフに問い合わせていた。

「対応機種コーナー」には技術的助言に対応した最新機種がラインナップされた。加えて「対応機器コーナー」でも、全ク連のソープ濃度測定セット等、技術的助言に対応する部品や付加機能、資材等を展示するなど、このゾーン全体で来場者が今一番知りたい情報を余すところなく伝えていた。



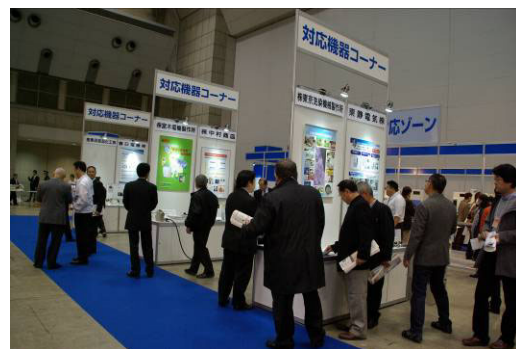
モデル店舗ゾーン。3日間を通して、常に多くの方にご来場いただいた



相談コーナー



対応機種コーナー



対応機器コーナー

●全国技術交流会

クリーニング技術部会（古谷一部会長）は4日（土）、「建築基準法への対応」をテーマとした全国技術交流会を展示会場に隣接するT F Tビル研修室 908 にて 107 人の参加のもと開催した。全国技術交流会では、建築基準法の例外許可に必要な要件と 11 月に改定された「クリーニング所における衛生管理要領（以下、衛生管理要領）」で規定する安全確保策を正しく理解し実践するために、3人の講師が衛生管理要領、建築基準法に適應する機械設備、衛生管理要領に対応するソープ濃度の管理方法等についてそれぞれの立場から講演を行い、参加者たちは約3時間にわたる講演を真剣に聞き入っていた。

講演演目と講師の詳細は以下の通り。

講演 1：建築基準法の例外許可と衛生管理要領による安全確保について

講師 厚生労働省健康局生活衛生課 三川麻衣課長補佐

講演 2：建築基準法例外許可に必要な機械設備について

講師 社団法人日本産業機械工業会 業務用洗濯機部会 原勝幸幹事

講演 3：衛生管理要領に対応するソープ濃度の管理方法について

講師 全国クリーニング連合会 クリーニング総合研究所 小野雅啓所長代行



改正された衛生管理要領について解説する
三川課長補佐



講習を真剣に聞き入っている参加者たち

●第4回日織ク協交流会議

日本繊維製品・クリーニング協議会（角田光雄会長／文化女子大学名誉教授）は、「第4回日織ク協交流会議」を大会初日の3日（金）にTFTビル研修室 909 にて 104 人の参加のもと開催した。角田会長は開会の挨拶で「多くのクリーニング組合関係者にもお集まりいただき心より感謝したい」と述べた。

この日織ク協交流会議は、クリーニング事故を防止するためにクリーニングとアパレル、検査機関等の業界が現場レベルで交流を図り、理解を深めることを目的に毎年開催しているもの。今回は「衣類の取扱いに関する表示のあり方」をテーマに、株式会社高島屋の松本まさみ氏が基調講演「百貨店の品質管理と表示」を行った。その後、クリーニング・アパレル・百貨店・検査機関・学識者が、消費者擁護やクリーニング事故防止のために取扱い絵表示や付記用語をどのように活用していくべきかをパネルディスカッションを通じて考えた。

【パネルディスカッション出演者】

パネラー

- 松本まさみ氏（株式会社高島屋）
- 小澤 節子氏（文化女子大学）
- 加藤 峰雄氏（株式会社ビームス）
- 内山 雅章氏（株式会社レナウンアパレル科学研究所）
- 長谷川千恵氏（株式会社白洋舎洗濯科学研究所）
- 田村 嘉浩氏（三共クリーニング株式会社）
- 本所 寛氏（財団法人毛製品検査協会）

コーディネーター

- 市川 駿氏（日本繊維製品・クリーニング協議会）



クリーニング業界・アパレル業界がそれぞれ抱えている取扱い絵表示や付記用語についての問題を、パネルディスカッションを通して共有化した

●クリーニング・フレンドシップ・パーティー

中央青年部会（片岡芳規部会長）は12月4日（土）に業界関係者や青年層のクリーニング業者が集う名刺交換会「クリーニング・フレンドシップ・パーティー（CFP）」を東京ビッグサイトのCLV21会場内で行い、青年部員を中心に74名が交流を深めた。

今回は基調講演と名刺交換会の2部構成となっており、第1部の基調講演では全日本クリーニング機材商協議会の伊藤昭平会長を講師にお招きし、「どうしたクリーニング業界元気だそうぜ！」をテーマに、過去の経験や現在のクリーニング業界など織り交ぜてお話しいただき、参加者に元気と希望を与える講演となった。

第2部の名刺交換会では参加者同士が積極的に名刺交換や様々な意見交換を行い、会場内は活気に包まれていた。



伊藤会長の基調講演。熱意にあふれた話に参加者は聞き入っていた



名刺交換会では、各々が積極的に業界関係者と交流を図っていた

●接客ロールプレイングコンテスト 目指せ！「C-1グランプリ」

今回の展示会では、繊維商品めんでなんす研究会（加藤英雄会長）の協力を得て、「C-1グランプリ」と題した接客コンテストが展示会2日目の4日（土）に開催された。繊維商品めんでなんす研究会が主催のこのコンテストでは、全国から選出された選手がステージに上がり、自慢の接客を披露した。

審査員と見学者の投票の結果、優勝には杉崎クリーニング商会（神奈川県）の杉崎香苗さんが選ばれた。



優勝した杉崎さんのロールプレイング

次回展示会のご案内

CLV21-2011 大阪国際クリーニング総合展示会
会期：2011年12月2日（金）～4日（日）
会場：インテックス大阪

<問い合わせ先>

担当：全ク連／企画広報課

電話：03-3562-7201